

鑑賞教育シンポジウム

美術鑑賞という行為について考える

「表現」と「鑑賞」を柱とする美術教育の現場では、いまだ鑑賞教育を敬遠する傾向がないとは言えません。これは時間数の問題、児童・生徒の関心を引き寄せることの難しさ、教員自身の題材への精通性に関することなどに起因すると考えられます。そこで、このような現状を鑑み、3年間の計画で「体験型鑑賞教育の研究」という新しいプロジェクトを立ち上げ、改めて「鑑賞」について研究する場をつくらうという考えにいたりしました。

鑑賞教育は、「見る」「知る」「考える」などの行為によって認識される活動です。最近では「対話型鑑賞教育」など様々な鑑賞教育が進められていますが、本研究ではまた新たな視点から、より実効性の高い教育プログラムの開発を提案していく予定です。

3年計画の初年度となる今回は、まず鑑賞教育自体の根本的な問題、「美術鑑賞とは何か」を考える機会としたいと思います。そこで最新の鑑賞教育について研究されている先生や効果的な鑑賞の授業を実践されている先生方にご登壇いただき、美術鑑賞とは具体的に何を指すのか参加者全員で考えながら、ひいては美術教育全体の高揚も図っていきたいと思います。是非ともご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

2015年11月21日(土)

13:30→17:00

熊本大学くすの木会館

熊本市中心区黒髪2丁目40番1号

●参加無料 ●事前申込制

- 13:30-13:40 主催者挨拶：緒方 信行／熊本大学
- 13:40-13:45 趣旨説明：水野 裕史／熊本大学【総合司会】
- 13:45-14:05 赤木 基子／熊本大学
みること・感じること・語ること／共振する場としての美術教育
—視覚文化・社会に生きる私と表象への écriture—
- 14:05-14:25 犬童 昭久／九州ルーテル学院大学
幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞学習の現状と課題
- 14:25-14:45 松島 睦朗／熊本市立川原小学校
小学校教育における鑑賞教育の在り方について
- 14:45-15:05 吉田 香寿美／南関町立南関中学校
体験型鑑賞の授業—石庭の授業を通して—
- 15:05-15:25 森内 和久／熊本県立宇土中学校・高等学校
鑑賞教育における多角的アプローチの実践
- 15:25-15:45 休憩
- 15:45-17:00 総合討議 司会：喜久山 悟／熊本大学
緒方 信行+赤木 基子+犬童 昭久+松島 睦朗+吉田 香寿美+森内 和久
ディスカッサント：吉川 登／熊本大学名誉教授
- 17:00 閉会

主催：熊本大学教育学部美術科

後援：熊本県図画工作・美術教育研究会+熊本市図画工作・美術教育研究会
+熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会

本シンポジウムは、科学研究費補助研究(C)「体験型鑑賞教育プログラムの開発と実践・評価」(課題番号15K04451)(研究代表者：緒方信行)による研究成果の一部です。

事前申込がなくとも参加できますが、会場設営の都合上、参加ご希望の方は、**11月6日(金)**までに事前申込をお願いいたします。お手数ですが、下記の欄にご記入の上 **FAX (096-342-2676)** もしくは同等の内容を **Eメール (art@educ.kumamoto-u.ac.jp、件名に〈シンポジウム参加申込〉とご入力ください)** にてお送り下さい。折り返し、受付完了の返信をいたします。なお定員は30名程度ですが、定員を超えた場合、会場を熊本大学内の教室に変更することがあります。その際には、開催前日までにウェブサイト上 (<http://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/~art/>) にて告知いたします。あらかじめご了承ください。

また、シンポジウム終了後に懇親会を予定しております。こちらも合わせてご参加ください。

ご芳名 _____ ご所属 _____

電 話 _____ FAX _____

Eメール _____

懇親会 参加 不参加 ※どちらかに○をお付け下さい
懇親会参加費が別途かかります



お問い合わせ先

鑑賞教育シンポジウム事務局 担当：水野裕史
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学教育学部美術科

TEL：096-342-2675 FAX：096-342-2676

E-mail：art@educ.kumamoto-u.ac.jp

HP：http://www.educ.kuammoto-u.ac.jp/~art/